

令和3年度 はごろも小学校の取組み

1 研究主題名

主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成
～「聞くこと」から「話すこと」への接続を目指した言語活動の工夫を通して～

2 研究主題設定の理由

宜野湾市の小学校英語教育課程特例校事業の計画に基づいて、ALT・JTEが配属され、5・6学年は教科化、1～4学年は外国語活動としての授業が行われるようになった。

昨年度の児童英検の結果が5・6学年それぞれ90%・85%で、全国、市の正答率を共に上回っている。このことから、児童は「聞くこと」には慣れ親しんでいる。

しかし、聞く能力だけでなく、話す能力の育成も必要となってくる。そのためには、「聞くこと」から「話すこと」へ繋げるために必要な言語活動を身に付ける必要がある。

そこで、言語の習得だけでなく、歌やリズム等で英語に慣れ親しみ、教材や教具を工夫し相手を意識した体験的なコミュニケーション活動をすることで、伝わる喜びや達成感を味わうことに繋がる。そうすることで、「聞くこと」から「話すこと」への接続を目指した言語活動へととなり、自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする児童が育つのではないかと考え、本研究主題設定をした。

3 研究の主な内容

(1) 目標 (小学校外国語活動学習指導要領より)

ア 聞くこと

(第1学年及び2学年) 基礎的な英語の音声の特徴に関心を持つこと

簡単な語句を聞き取ること

簡単な質問や依頼、あいさつがわかること

(第3学年及び4学年) 基礎的な英語の音声の特徴に親しむこと

基礎的な文を聞き取ること

基礎的な文で表される質問や依頼、あいさつがわかること

(第5学年及び6学年) 基礎的な英語の音声の特徴がわかること

自然な口調で話されている基礎的な英語を聞き取ること

基本的な質問や依頼、あいさつに応じること

イ 話すこと

(第1学年及び2学年) 基礎的な英語の音声の特徴を真似て発音すること

場面などに応じて、自分の言いたいことを簡単な語句で表現すること

積極的に話そうとすること

(第3学年及び4学年) 基礎的な英語の音声の特徴を意識して発音すること

場面などに応じて、自分の言いたいことや気持ちを簡単に表現すること

積極的に続けて話そうとすること

(第5学年及び6学年) 基礎的な英語の音声の特徴を正しく発音すること

場面などに応じて、自分の言いたいことや気持ちを簡単に表現すること

沈黙をしないで、聞き手にわかるように話そうとすること



- ① 英語学習への関心・意欲を培う
- ② コミュニケーション能力を高める

(2) 指導方針及び方法

- ①各学年の実態に応じた活動を計画し、これまで習得した基本的な語彙力や表現力を活かしながらのHRTとALT・JTEとのチームティーチングによる指導を行う。
- ②週に1回程度、HRTとALT・JTEとの英語ミーティングの時間を設け、事前に授業の流れを確認することで、連携して授業が行えるようにする。
- ③各学年の発達段階に応じて、歌やリズム遊び、ゲーム、場面にふさわしい簡単な挨拶等、体験的な活動を多く取り入れ、高学年では、考えたり書いたりする活動も取り入れるようにする。
- ④行事や他教科と関連させ、身近な事柄について、英語活動を通して学ぶことで、より実践的なコミュニケーション能力を養う。
- ⑤学習した英語を活用する機会をより多く設けることにより、英語を使ったコミュニケーション能力を高める。
- ⑥HRTも共に英語を学び、楽しむ姿勢を見せる事、「児童の良さを見つけ、ほめる」を常に心ける事で、安心して英語を話せるような雰囲気づくりに努める。

4 本年度の取り組み

(1) 授業の流れ

授業の初めと終わりは、全学年、HRT主導で行い、デモンストレーションから、児童にめあてを考えさせ、振り返りでめあてが達成できたかを確認した。

(2) 授業の様子



ウォーミングアップ

「Greeting・Chants・English Rules」で挨拶や気分、曜日、天気、ルールをいいます。

低学年

毎時間、「Topic」のダンスと歌で気持ちよくスタートします。

♪If you' re happy and you

Know It.clap your hands. ♪



実際に体の部分を触りながら、英語での言い方を確認しました。

Touch your head!



何度も英単語を繰り返し言いながら、
楽しくカルタゲームをしました。

Carrot!!

ワークシートは、今日の Topic と振り返りを書き、スタンプとシールをもらいます。



中学年



**I like red. I like yellow. I like purple.
This is my rainbow.**

虹を好きな色でぬって、お友達に自
分のぬった虹を紹介しています。

Sit up straight!!

はじめのあいさつ



Small Talk では、その時間に関係のあることを ALT
や JTE と担任で話し、全体にも問いかけている。

I want a Christmas Present.

What do you want for Christmas?



クリスマスに何が欲しいのか尋ね、質問に答えようとしています。



I want a bell.

クリスマスカードの交換をしています。

「Where do you want to go ?」

高学年



I want to go to Nagasaki. I want to see~

タブレットで動画を撮影しながら発表練習！！



撮影した動画を再生しながら、目線や発音などを改善していく。



発表会

ワークシートを活用しながら 又は タブレットで1枚スライドを作成し提示しながら発表。

English Lesson Plan 21

- (1)Topic やさいとなかよし。
 (2)Aim 自分の欲しい野菜を英語を使って買いに行く。
 (3)Evaluation 野菜の名前を言ったり聞いたりしながら、欲しい野菜を尋ねるたり、わたすことができる。

▼Target phrases and words

○○, please! / Here you are. / Thank you.
 tomato/ potato / carrot / cucumber / onion / pumpkin / green pepper/ cabbage / lettuce /
 broccoli /

▼(2H/2H)

	児童の活動	指導者の活動	指導ポイント
挨拶 5分	(1)あいさつをする。 Sit up straight. Let's start English class. Good [morning / afternoon]classmate. How are you? How is the weather? What day is it today? ・Chant を歌う。	Today's class readers. Class readers ... good job!	・英語活動にスイッチを入れ 替えられるよう元気よく行う。
導入 10分	(2)前回の復習。 ・野菜カードを使い言い方の確認をする。 (3)本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">めあて: 買い物のごっこをえいごでしよう。</div> (4)Vegetable Song を歌う。	What's this? ～下さい。英語でなんて言うのかな? Today's goal is ～. Let's sing a song.	・(～下さい)(はいどうぞ)(あ りがとう)など分からないとい う事を理解し、めあてをしてい くことを意識させる。
展開 1 10分	(5)単語とフレーズの確認をする。 “～, please.” “Here you are.” “Thank you.” ①買い物ごっこに必要なフレーズを練習し、覚える。 ②デモンストレーションを見る。	①絵カードで3つのフレーズの確認をする。 ②デモンストレーションを見せる。	
	伝言ゲームのように後ろの友達に“tomato, please.” と伝え、最後の後ろの子は、JTE に野菜を貰い に行く。後ろの子は、前の子に”Here you are.”,”Thank you”のやり取りをしながら前列に回し、最 後に HRT に”Here you are”で渡し、”Thank you”で受けとる。		
展開 2 15分	(6)お買い物をする。 ・お店屋さんと買い物客に分かれ、買い物をする。 ①JTE とデモンストレーションをする。 ②お店とお客に分かれる。 ③中間発表。 ④お店とお客を交代して行う。	HRT: tomato, please! JTE: Here you are. HRT: Thank you. ・どのくらい売れたか、何が買えたか、よかつ た所を褒める。	・行くお店に偏りがないう ように、いろいろなお店に買いに 行かせる。 ・様子を見て、援助が必要なこ の所に行く。
まとめ 5分	(7)本時のふりかえり ・振り返りシートを記入する。	・振り返りシートを記入させる。	
	(8)終わりのあいさつをする。	Today's class readers. See you.	

新学習指導要領の実施に伴い、5つの領域の言語活動を通して、下記のような児童の育成を目指し、学習に取り組んだ。

3・4学年のテキスト「Let's Try」を活用した授業を行い、5・6学年は、「ONE WORLD Smiles」を活用し、机やいすのある各教室で、読むこと・書くことの活動に取り組んだ。聞くこと・話すことの体験的な活動を大切にしながら、高学年は、中学校英語を意識した学習活動を行った。

	聞くこと	話すこと(やり取り・発表)	読むこと	書くこと
低学年	身近な外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ児童。			
中学年	外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ児童。(外国語学習への動機づけを高める)			
高学年	短い話の概要を捉えることができる。	言語活動を通して児童が簡単な語彙や基本的な表現を使って自分の気持ちや考えを表現できる。	簡単な語彙や基本的な英語表現の読み方を活字体の文字と結びつけて発音したり、4線上に書いたりすることに慣れ親しむ。	

5 成果と課題・対応策

低学年

- 毎時間の Greeting と Chants で、天気・曜日・気分等の言い方に慣れ、テストではほとんどの児童が合格していた。
- 学校の英語活動だけでなく、日常生活の中でも習った英単語を使って外国人とコミュニケーションを取ろうとする関心が高まった児童もいた。
- 簡単なゲームが多く、どの児童も英語を話しながら活動に取り組んでいた。
- マスクをしているので、口形指導がしづらい。
- 正しい発音ができているか確認することが難しい。

中学年

- 簡単な Greeting ができている。
- アクティビティやゲームの中で、英語を話そうとする姿がよく見られた。
- JTE・ALTによるメリハリのある授業内容で子ども達が意欲的に活動していた。
- リスニングだけでなく、視覚的にもわかるように工夫していて子どもたちも英語を読もうとしている姿が見られた。
- 英単語などの定着が弱い子がいる。
- マスクしているので、実際に声をだしているか確認ができなかった。

高学年

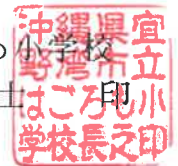
- JET・ALT が授業案を作成し、それを元に毎週ミーティングの時間を確保することで授業をスムーズに行うことができた。
- 5年から週2時間の外国語の時間になり、はじめは戸惑う児童も多くみられた。次第に授業の流れにも慣れ、一生懸命聞こうとする態度が身につき、聞く力がついてきた。
- タブレットを活用することで、発音や単語・都道府県等のことを自分で調べることができ、興味をもって個に応じた学習を進めることができた。
- 毎年JTEやALTによってグリーティングや振り返りシートが違うので宜野湾市として統一できないか。

宜野湾市教育委員会

教育長 仲村宗男 殿

宜野湾市立はごろも小学校

校長 宮城 紀士



指定研究計画書

1 研究主題名 主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成
～「聞くこと」から「話すこと」への接続を目指した言語活動の工夫を通して～

2 研究主題設定の理由

宜野湾市の小学校教育課程特例校事業の計画に基づいて、ALTが配属され、5・6学年は外国語、3・4学年は外国語活動、1・2学年は英語科としての授業が行われている。昨年度の児童英検の結果が5・6学年それぞれ90%・85%で、全国、市の正答率を共に上回っている。このことから、児童は「聞くこと」には慣れ親しんでいる。しかし、聞く能力だけでなく、話す能力の育成も必要となってくる。そのためには、「聞くこと」から「話すこと」へ繋げるために必要な言語活動を身に付ける必要がある。

そこで、今年度、コロナ感染防止に取り組みながら、「聞くこと」から「話すこと」への接続を目指した言語活動を工夫し取り組むことで、主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童が育つのではないかと考え、本研究主題を設定した。

3 学年・領域 全学年

4 研究主任と組織 担当：安里美恵子 ALT：Nathaniei DeCastro、平良真未
英語部：照喜名陸光、川上琢哉、仲村美智子、高江洲みずき、玉城克馬
比嘉多美子

5 年間研究計画

1～4学年までは週1回、5・6学年は週2回、担任とALTのチームティーチングの授業で、身近な英語表現、他教科とリンクさせた学習活動を実施する。

6 校長所見

①本市の目標である「創造性、国際性に富む人材の育成」を基本理念として目標実現のために英語教育の充実を目指し、コミュニケーション能力の育成に努める。

②「英語を使って何ができるようになるか」という観点から一貫した教育目標を示す。

「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能に係る具体的な指標の目標を含む教育目標

小学校 中学年から外国語活動を開始し、音声に慣れ親しませながらコミュニケーション能力の素地を養うとともに、ことばへの関心を高める。

高学年 外国語科を通して、身近なことについて基本的な表現によって「聞く」「話す」ことなどに加え、「読む」「書く」の態度の育成を含めたコミュニケーション能力の基礎を養う。

学習の系統性を持たせる教科(外国語科)として英語による授業改善に努める。

③児童の英語に対する学習意欲を高めるため、ALTを効果的に活用した授業実践を行う。

このため、HRTとALTの打ち合わせを定期的に行う。